

# 展がる 護る 明日なる

## 有事

## 祭事



アスナル金山は金山総駅の駅前に位置しながら、**退避施設**に指定されておらず、**広域避難所**に指定されているかどうかは定かではない。特に人の集中する駅前地区にとって、災害時に発生する鉄道利用者や買い物客等の**帰宅困難者**の受け入れに対応できないことは喫緊の問題である。

現在、東海地方では南海トラフ大地震の切迫性が高まり、前回の発生から70年以上経過している状態で、いつ大地震が起きてもおかしくない。過去の阪神淡路大震災や東日本大震災では、被災地における対策が出遅れた。また、帰宅困難者や家族との連絡が途絶えた人々の居場所の確保を瞬時にすることができず、特に多くの人が集まる駅周辺では人々が立ち往生し、地域に溢れ出ってしまった。

予想される大地震や不測の災害が発生した際に、アスナル金山という駅前空間が瞬時に対応し、人々の拠り所となり、生活を支える場所になるべく、**地域避難所**や**待避所**として機能する必要がある。

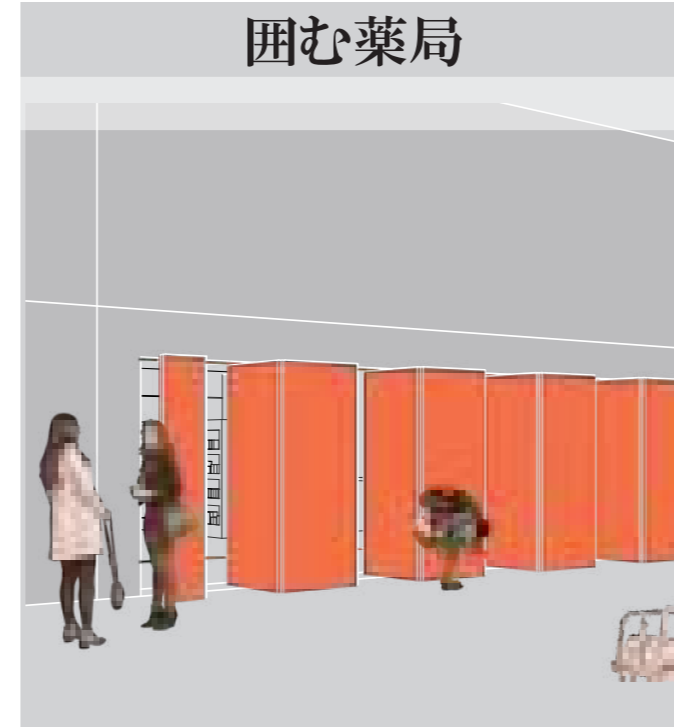
本提案では、アスナル金山の各店舗壁面が災害時に様々な展開するパターンを計画し、屋外広場だけでなくアスナル金山全体に避難所としての役割を持たせた。また、**災害時**だけでなく、**平常時**や**イベント時**も壁面の動きで多様な展開が可能になることで、金山と人々を守り、発展させる場所を目指す。



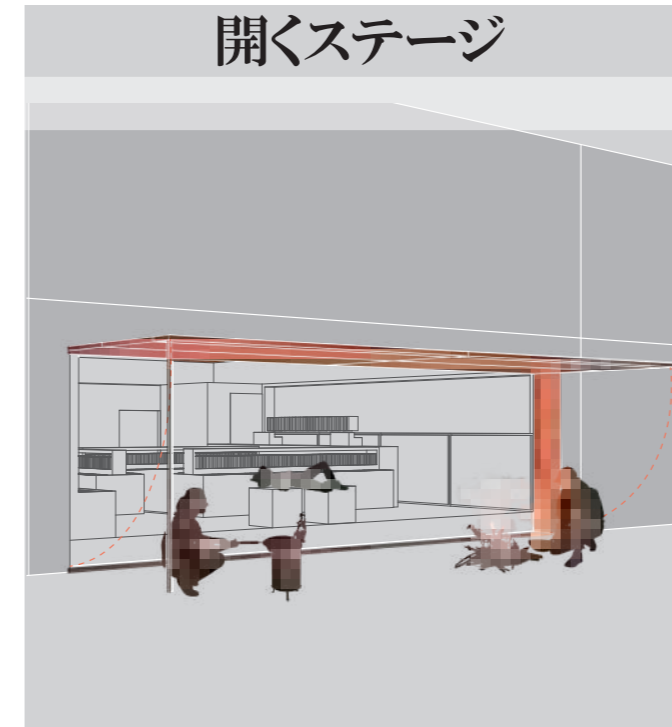
現状、線路と建物に挟まれ裏になってしまっている南側。南壁面を展開することで各店舗が人に寄り添い、距離を縮める。裏にも表の豊かな表情を出す。



**折るレストラン**  
飲み出しの場となる。壁面を部分ごとに外側に折って展開し机や椅子という家具に変化する。待機する場やその場で食料を蓄えることが可能となる。



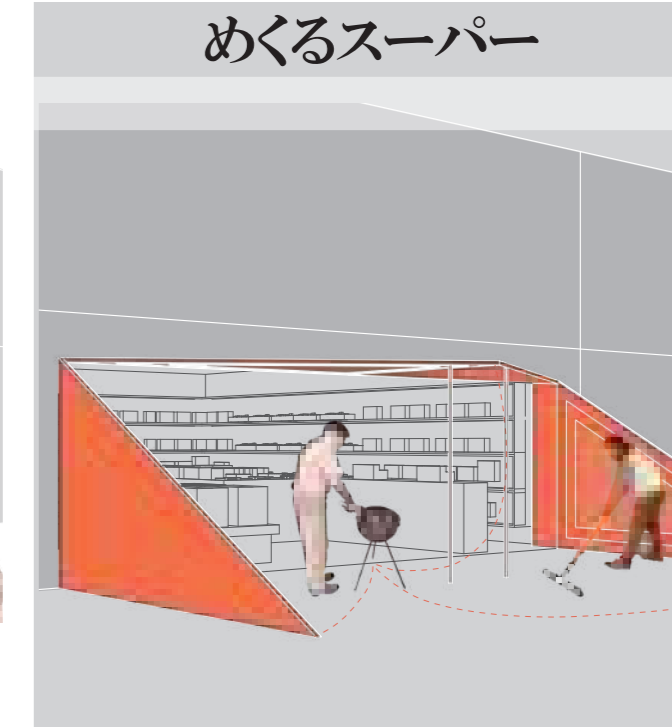
**囲む薬局**  
災害拠点病院となる。壁面から**診療のための小さな箱**が複数展開し、薬の提供や応急処置を行う。



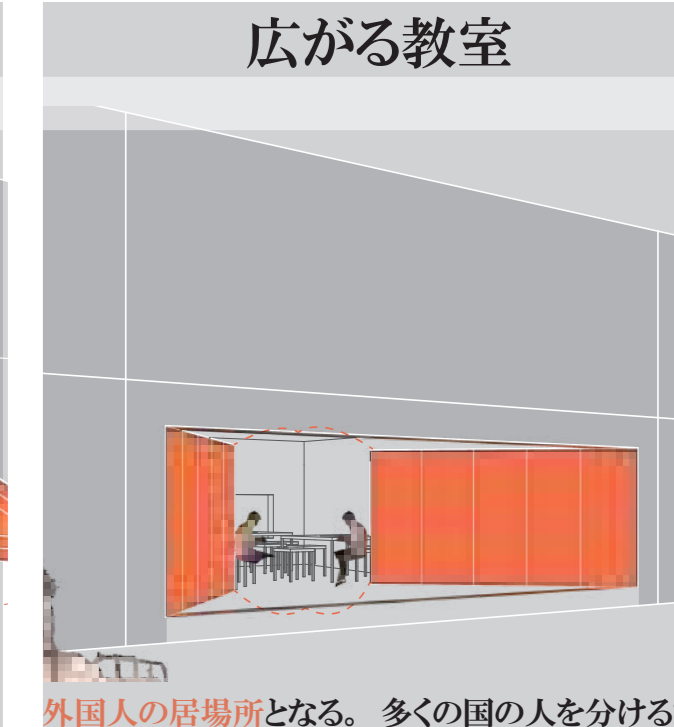
**開くステージ**  
各放送局の拠点となる。大きく壁面を展開し、アスナル金山から災害状況を発信する。



**回る服屋**  
感染症などの隔離施設となる。壁面を閉じた状態にすることで感染を防ぎ、患者に衣類や毛布をすぐに提供できる。



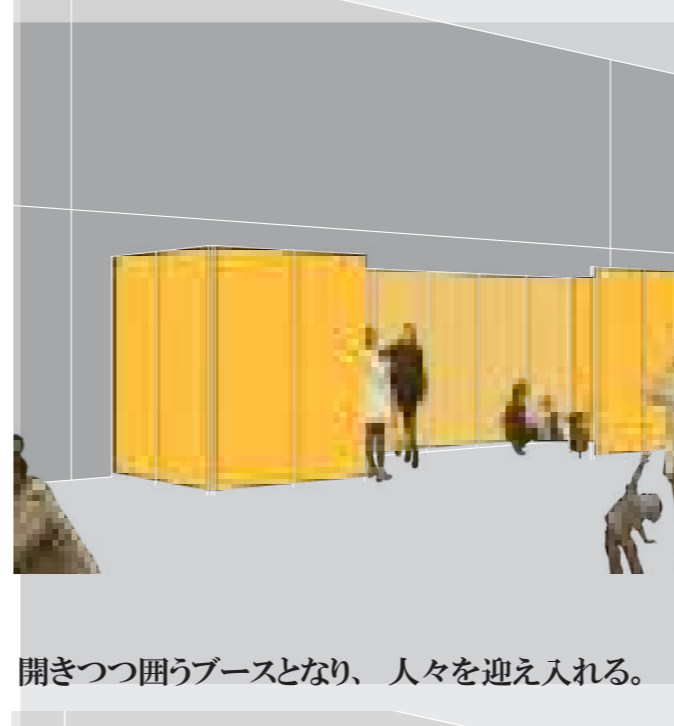
**めくるスーパー**  
物資集積拠点となる。壁面を全開放し、素早く人々に物資を提供する。



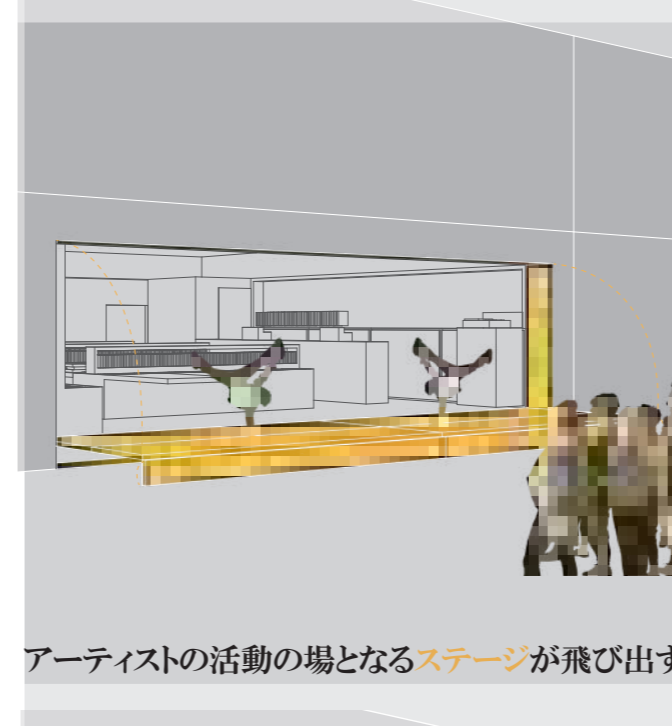
**広がる教室**  
外国人の居場所となる。多くの国の人を分けるため、壁面の展開を内に広げて教室内に居場所をつくる。



**祭事**  
屋根が付いたテラス席などになる。



**平時**  
開きつつ囲うブースとなり、人々を迎え入れる。



**平時**  
アーティストの活動の場となる**ステージ**が飛び出す



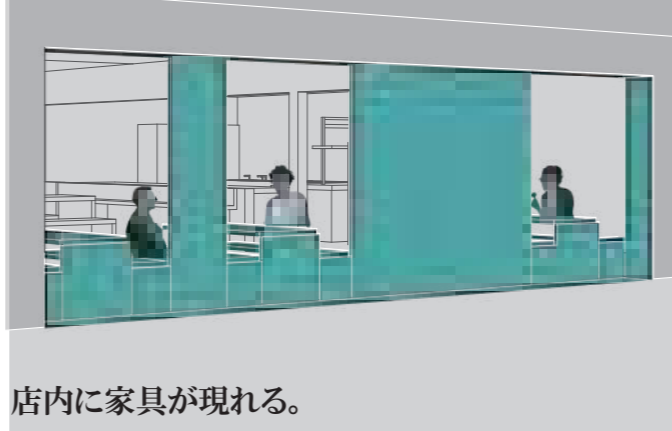
**平時**  
横回転し、出店のように人を出迎える。



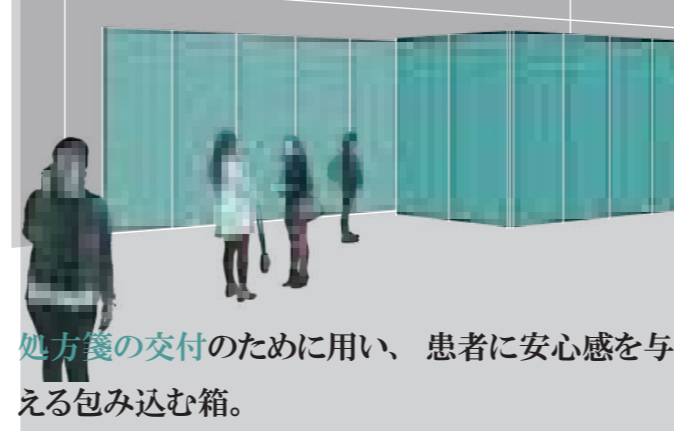
**平時**  
壁面が屋根として展開し、熱中症対策として日陰をつくる。



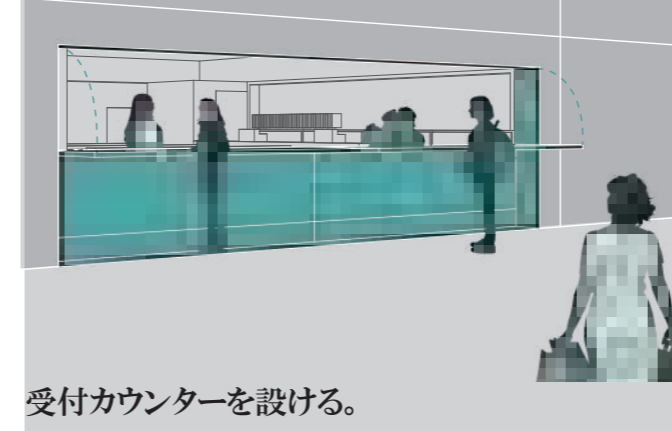
**平時**  
外部にも空間を広げて子供たちを呼びこむ。



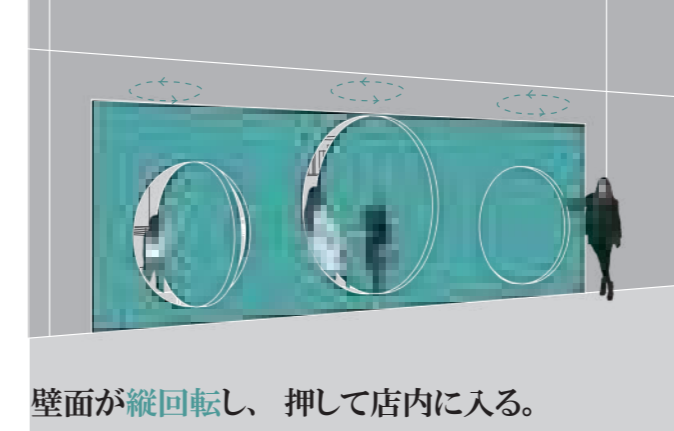
**平時**  
店内に家具が現れる。



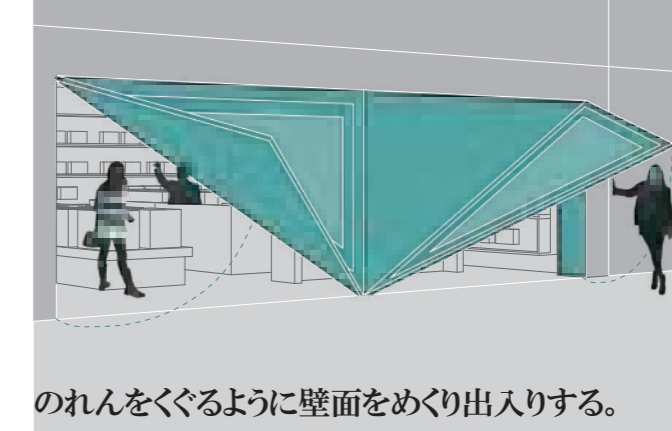
**平時**  
処方箋の交付のために用い、患者に安心感を与える包み込む箱。



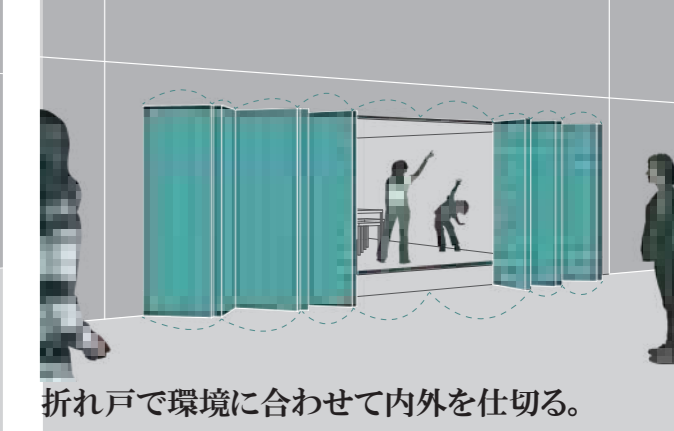
**平時**  
受付カウンターを設ける。



**平時**  
壁面が縦回転し、押して店内に入る。



**平時**  
のれんをくぐるように壁面をめくり出入りする。



**平時**  
折れ戸で環境に合わせて内外を仕切る。